

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

エンパワメントスクール(ES)の役割を十分に果たし、人間力を向上させ、自律し自立することで社会貢献できる人材を育成する

- 学びを大切にし、基礎基本の確かな学力の向上と、夢実現の発展的学力の養成。
- 規範意識・コミュニケーション力を身に着け、自己と他者を大切にできる人間育成と、生徒が安心・安全・満足できる学校。
- 自己有用感に満ち、社会貢献できる知識とスキルの習得。

2 中期的目標

1 成城高校がめざすESとしての成果をあげるための取組み

(1) ESの基本である学び直し学習を着実にを行い、発展的学力や知識習得のための取組み

ア 「授業力向上プロジェクト」にて「主体的・対話的で深い学び」を実現するための取組みを行う。

すべての教科で「何をどのように学び」「何ができるようになるのか」を明確に伝え授業の実践に取り組む。

*生徒向け学校教育自己診断における授業満足度令和2年度は70%、令和4年度に75%にする。(H29・41.0%、H30・48.5%、R1・63.2%)

イ ICTを活用した学びの充実(すべての普通教室でインターネットが繋がる環境と、タブレットを無線でつなぐ環境の整備)

* プロジェクター、タブレット等ICT機器の活用方法を一層研究し活用を進める。

生徒満足度 80%をめざす(H29・67.6%、H30・71.0%、R1・82.6%)

* 座学でのICT活用実施者割合を令和2年度は100%とし令和4年度まで維持する(H29・60%、H30・100%、R1・100%)

2 高い規範意識とコミュニケーション力で自分と他人を大切に、安全・安心で充実した学校生活を送れる学校作り

(1) いじめられ経験や不登校経験をもつ生徒への対応

ア 支援コーディネータを核とした支援委員会と、SC及び担任団を中心としたサポートチームの強化

イ いかなるいじめも許さない・見逃さない指導と、生徒の実態に合わせた生徒指導

*いじめアンケートを各学期に実施し、情報収集と相談しやすい環境づくり

*寄り添う心と丁寧な指導で、生徒の安全で安心な学習環境を維持する。不登校ゼロをめざす

(2) 生徒が充実した高校生活を送るための取組み強化

ア 学校生活を大切にさせるための取組み強化

*令和2年度保護者対象学校教育自己診断での「学校に対する満足度」の目標を80%にし、令和4年度には90%にする。

(H29・78.1%、H30・75.3%、R1・71.8%)

*令和2年度生徒対象学校教育自己診断で、「学校へ行くのが楽しい」の目標を80%にし、令和4年度には90%にする。

(H29・61.4%、H30・68.0%、R1・69.9%)

*総遅刻回数・欠席日数とも前年比各10%減を達成する。

(遅刻H29・55%、H30・5%、R1・28.2%(増) 欠席H29・15%、H30・20%、R1・29.4%(増))

*中退率維持 ゼロをめざす(H29・0.8%、H30・0.68%、R1・0.1%)

イ 部活動の活性化

*令和2年度、部活動加入率全体70%、1年生80%にし、令和4年度全体の加入率80%をめざす(H29・73.9%、H30・51.0%、R1・62%)

3 進路保障

(1) 基礎学力を身に着け、発展的学力を充実させる。

ア 授業公開3回実施。教員相互の授業見学を積極的に行い、毎回レポートを提出。

イ 「主体的・対話的で深い学び」の探求・実践・充実

*教育産業が実施する学力診断テストを用い生徒の学力を定点観測し学力向上をはかる。評価指標であるD3の割合を令和2年度も10%減をめざし令和4年度は全体の10%以下を目標とする。(H29・14%、H30・8.4%、R1・28%減) R1より実数ではなく減少割合を指標とすることにした

(2) 希望進路の実現をめざし、高いモチベーションを維持するための取組み

ア 進路指導部主導型の進路指導体制を構築し、卒業時進路未決定者0(ゼロ)の実現

*入学当初の進路希望・夢実現に向けて、やる気にさせる取組みを実施

*進路未決定卒業生率を令和2年度以降減少させゼロをめざす。(H29・0、H30・1、R1,4)

イ 社会で役立つ資格等を取得するための取組みと、進学に向けた英語、数学、国語の進学講習の充実。(成城セミナー開講)

*令和2年度の資格取得者・検定試験合格者数500名を目標とし、令和4年度まで維持する。(H29・652名、H30・434名、R1・603名)

ウ 系列のさらなる充実を図り、生徒のニーズに即した仕掛けで、夢の実現を支援する。

4 地域に根差し見守られ、地域に貢献できる学校づくり

(1) 令和2年度入学者選抜志願者確保

ア 「チーム成城」での組織的な情報発信

*中学校訪問150校実施を組織的に取組み強化しそれを維持する。(H29・190校、H30・226校、R1・218校)

*学校説明会を年5回実施 参加者800名以上を目標とする。(令和元年度は生徒・保護者向け5回計835名)

*令和2年度入試入学者の第一志望での入学者数を95%とし、令和4年度まで維持する。(H29・84.2%、H30・86%、R1・93%)

イ 地域に見守られ、地域とともに成長する学校づくり

*文化祭・体育祭に合わせて1000名以上の来場者を維持する。(H29・1061名、H30・1033名、R1・1094名)

5 組織の活性化と人材育成

(1) 「成城みらいプロジェクト」をさらに充実させ、初任者を含む経験の少ない教員のスキルアップを図る校内研修を充実させる。

※相互の授業見学を積極的に行い、良好な人間関係と授業力向上をめざす。

※5年後の成城を見据えた新たな取組みを模索し、職員会議に提案する

(2) コンプライアンス意識の向上職務の効率化の取組み

(3) 危機管理体制及び保健・安全・衛生管理の徹底

(4) 職務の効率化の取組み ※年間時間外勤務 → 400h以内

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><生徒> ・結果 ●分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業はわかりやすい」が、向上 (63,2%→76,8%) ・「学校に行くのが楽しい」が、向上 (69,9%→71,5%) ・「先生の指導には納得できる」が、向上 (49,4%→52,2%) ●「授業がわかりやすい」が大きく向上することで、少しではあるが「学校に行くのが楽しい」、「先生の指導には納得できる」の数値が向上している。教員の授業等の新たな工夫や取組みがこの結果と考える。「授業などでタブレットやプロジェクタ、コンピューターなどが活用されている」も、向上 (82,6%→86,4%) している。 ・「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」が、向上 (80,1%→85%) ・「いじめや私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が、向上 (71,7%→79,9%) ・「日頃から清掃活動にしっかり取り組み、校内美化に取り組んでいる」が、向上 (64,3%→70,8%) ●コロナ禍の状況において、「コロナ対応」(マナー・ルール・感染者への対応・清掃・消毒等)を新たに学習した結果と考える ●全体的に、多くの項目で数値は向上している。学校行事・部活動の項目において、実際活動ができていないため数値が下がっている。コロナ禍の中において、学校生活でマイナス面が多い中、プラス面になった項目もある。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている」が、向上 (56,6%→66,7%) ・「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」が、向上 (71,8%→76,7%) ●生徒の回答と比例している。 ・「学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が、向上 (79,2%→86,1%) ・「学校は子供に生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を養おうとしている」が、向上 (83,9%→89,9%) ●家庭内で生徒が学校生活について保護者と話をよくし、しっかり伝えている結果と考える。(コロナ対応等) ●「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」のみ数値が下がっており (63,3%→58,5%)、その他の項目は全て数値が向上している。今年度は、体育祭のみ行事を実施し、それ以外は全て中止した結果である。 <p><教員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「普段から清掃が行き届いており、校内美化に努めている」が、大きく向上 (47,7%→81%) ●教員全体の意識が高くなった ・「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」が、大きく低下 (93,6%→82,8%) ・「授業内容について、他の教科の担当者とも話し合う機会がある」が、大きく低下 (63%→53,4%) ●学校が臨時休業・時差登校等で、教員もテレワークをしており、他の教員との接する機会が少なくなった。また、コロナの影響で通常よりも仕事内容(朝の検温・放課後の一斉消毒等)が増え時間が足りないのが原因と考える。 	<p>第1回学校運営協議会 議事録</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日 令和2年6月5日(金) 必着による、書面議決 2 内容 <ol style="list-style-type: none"> 第1号議案 会長(議長)の選出と職務代理の指名 <p><事務局提案></p> <p>会 長：野入 尊子 氏</p> <p>職務代理：畠平 亨一 氏</p> <p>⇒賛成5・反対0により、議決</p> 第2号議案 令和元年度「学校経営計画・評価」について <p><事務局提案></p> <p>令和元年度学校経営計画・評価について、別紙の通り報告 (別紙参照)</p> <p>⇒賛成5・反対0により、議決</p> 第3号議案 令和2年度「学校経営計画」(案)について <p><事務局提案></p> <p>令和2年度学校経営計画(案)について、別紙の通り報告</p> <p>⇒賛成5・反対0により、議決</p> <p>第2回学校運営協議会 議事録</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日時 令和2年11月30日(月) 14:00~15:30 2 場所 視聴覚教室 3 内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校長挨拶 (2) 実施要項第七条(保護者からの意見)に係る報告 <ul style="list-style-type: none"> ・意見なし 4 本校の現状報告と取組み <ol style="list-style-type: none"> ① 本校のかかえる諸課題について(取組み報告) <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席数について 新型コロナの影響で増加傾向 ・体育祭は午前中に実施 150名の来場者 ・クラブ加入率は57%(昨年61%) ・中学生対象の学校説明会は2部制で実施 ② 令和3年度使用教科図書の選定及び採択について ③ 学校教育自己診断について(質問項目の確認) ④ 授業アンケート結果について ⑤ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導 求人数はコロナの影響もあり減少。就職1次内定率は67%。 ・生徒指導 SNSの問題がある。アップロードすることに危機感がない。 5 協議 <ul style="list-style-type: none"> ・入学後に、卒業後の進路へつながる系列を自分自身で選べるところが成城のいいところである。今後も、学校生活において自分で考える機会を作ってほしい。 ・自分の子どもが早くから準備をして進路が決定したので、職業体験は早い時期から(中学生くらい)、必要だと実感した。 ・生徒への就職指導をするときのその方法はどのようなものか? <p>→自発的に求人票を探す、面接練習に取り組む、専門学校無料講座等を活用する等、自主的に頑張れるよう、支援している。その指導にのれた生徒は、希望の企業への合格等、成果を出している。</p> ・コロナ禍の社会で、コロナで救われた生徒もいる。成城高校において、コロナにかかわることでポジティブな話があれば教えて欲しい。 <p>→今現在、生徒にとってポジティブな話は見当たらない。今後、このような状況を経験したことが活かされるような教育の必要性があると考えている。</p> ・学校教育自己診断の質問項目は出ているが、結果はどうなっているのか <p>→12月初旬に実施する予定、第3回学校運営協議会で報告する。</p> ・授業アンケート結果については、各々資料があれば、わかりやすい。 ・SNSの問題が報告であがっていたが、携帯電話やSNSについては、中学校でも学校によってルールが違う。ルールの厳しい中学校もあればそうでない学校もある。様々な中学校から集まってくる高校では、生徒の認識にも差があるように思う。 ・SNSの問題において、子どもたちが学校を卒業して社会に出た時は、社会人としてみなされ、誰も指導してくれない。SNSにおける危険性や個人情報、誹謗中傷等が、理解できるような人間の育成を、教職員にお願いしたい。

- ・先生同士が授業をお互いに見学し、授業力向上を図る機会はあるのか？
→年に二回、授業見学週間を設けている。今年度は第1回を11月に実施し、第2回を来年1月に予定している。10年目教員、初任者教員の研修とコラボして実施している。
- ・コロナの影響もあって、遅刻や欠席数は増加傾向にあるということであるが、具合が悪くて長欠の生徒は増えているか？
→数は増えているが、対応は教育庁からの指示に従っている。

6 その他

- ・次回は1月下旬予定

第3回学校運営協議会 議事録

1 日 令和3年1月31日(金) 必着による、書面議決

2 内容

第1号議案 令和2年度「学校経営計画・評価」について(報告)

<事務局提案>

別紙の通りとしてよろしいか。

⇒賛成6・反対0により、議決

第2号議案 令和3年度「学校経営計画」(案)について

別紙の通りとしてよろしいか。

～令和2年度からの変更点～

- ・「2 中期的目標」、
- 「2 高い規範意識を持ちコミュニケーション力を向上させ、自分と他人を大切にし、安全・安心で充実した学校生活の送れる学校作り」において
↓

新たに

「(2)挨拶の徹底と対人との会話力の向上をめざす」項目を追加

<理由>

コミュニケーションの基本はあいさつ・会話であることから新たに追加

⇒賛成6・反対0により、議決

<ご意見等>

2 中期的目標

2(2)イ 今年度、始まった「成城セミナー」は進学希望の生徒にはとても良い取り組みであるが、就職希望の生徒にも良い動機づけになり、継続して続けてほしい。

2(3)ウ 不登校ゼロをめざす

…不登校の生徒にどのような支援ができるのか、コロナ禍の中でもできることを取り組んでほしい。

3 進路保障

…基礎学力の定着を図ると同時に、自分の将来を見据えた、生徒が、自発的にやりたいことを見つけられる取り組みが必要ではないか。生徒に寄り添うとともに、社会で生き抜く力を育ててほしい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

2(1) 生徒が高い規範意識を持ち、充実した学校生活を送るための取組み

…頭髪指導については、人権問題になりかねない。しっかりした方向性を持ち、学校として取り組んでいくことが大切である。

2(2) 挨拶の徹底と対人との会話力をめざす

…「挨拶」についてはとても良い項目であるが、礼儀正しく「自然と気持ちの良い」挨拶ができるようになってほしい。

またコロナ禍の中で、声を出すのを控えなければならないのであれば、会釈やお辞儀をするだけでも良いのではないか。

挨拶を通して、人を思いやることのできる人間を育ててほしい。

2(3) ア・いじめが起因する不登校ゼロをめざす。

…とても良い取り組みである。

2(3) イ いじめアンケート3回実施

…申し出ることのできない生徒を意識して対応する必要がある。

3(1) 職員研修参加率95%を実現する。

…生徒の対応等で参加できないケースもあるが、100%にできる環境を整えることが必要である。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 本校がめざすエンパワとしての成果をあげる取り組み	<p>(1) ES の基本である学び直し学習を着実にを行い、発展的学力や知識習得ための取組み</p> <p>ア 授業力向上研修の充実</p> <p>イ ICT を活用した学びの充実</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・「授業力向上プロジェクト」を機能させ授業力向上目的とした研修の企画、立案、実施を計画的に行う。</p> <p>イ・新しい取組みを積極的に取り入れ、生徒の学ぶ意欲を充実させる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・「わかる授業」「何が出来るようになったか」を実感できる授業」を実現し、生徒向け学校教育自己診断における授業満足度を令和2年度は65%に引き上げる。(令和元年度は63.2%)</p> <p>イ・生徒向け学校教育自己診断において「授業などでタブレットやプロジェクター、コンピューターを活用している」の項目の満足度を85%にする。(令和元年度は82.6%) ・ICT活用実施者を令和2年度80%以上を維持する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・「授業満足度」が76,8%に上がった。(○)</p> <p>イ ・「授業などでタブレットやプロジェクター、コンピューターを活用している」が、86,4%に上がった。(○) ・ICT活用実施者が96.6%で維持できた(○)</p>
2 高い規範意識で自分と他人を大切に、安全・安心で充実した学校生活を送れる学校づくり	<p>(1) いじめられ経験や不登校経験をもつ生徒への対応の充実</p> <p>ア 支援コーディネータ、SC 及び担任団を中心としたサポートチームの強化</p> <p>イ いかなるいじめも許さない・見逃さない指導と、生徒の実態に合わせた生徒指導</p> <p>(2) 生徒が充実した高校生活を送るための取組み強化</p> <p>ア 学校生活を大切にさせるための取組み強化</p>	<p>(1)</p> <p>ア 組織的対応に欠かせない情報共有のため職員会議には近々の事案・事象の報告を行う</p> <p>イ ・式辞及び生徒集会等において常に学校の姿勢を訴えていく。 ・いじめアンケートを必要に応じて随時行い情報収集に努める。(定期的には年間3回)</p> <p>(2)</p> <p>ア・教頭、首席が中心となり、初任者を中心とした教師力向上研修を継続実施。 ・規律指導と安全安心、学習指導の充実を柱に、生徒に寄り添い、支援していく姿勢を貫く ・成城セミナーの充実。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・いじめが起因する不登校ゼロをめざす。</p> <p>イ ・生徒向け学校教育自己診断における「先生はいじめなどについて私たちが困っていること真剣に対応してくれる」を令和2年度75%とする。(令和元年度は71.6%) ・いじめアンケート3回実施</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校教育自己診断の保護者の「学校への満足度」満足度70%をめざす。 ・生徒の「学校へ行くのが楽しい」を75%にする。(令和元年度は69.9%) ・学校教育自己診断の生徒項目「成城に入学してよかった」を80%目標とする。(令和元年度…エンパワメントスクールへ入学してよかった71.1%)</p>	<p>(1)</p> <p>ア・いじめが原因での不登校生徒はゼロ(○)</p> <p>イ ・「先生はいじめなどについて私たちが困っていること真剣に対応してくれる」が79,9%に上がった。(○) ・いじめアンケートを年3回実施。平素よりいじめや人権侵害についてクラスで啓発している。(○)</p> <p>(2)</p> <p>ア ・「学校へ行くのが楽しい」が71,5%に上がった。(○) ・「成城に入学してよかった」が74,7%に昨年度より上がったが、目標には達していない。(△) (今年度…エンパワメントスクールへ入学してよかった74,7%)</p>

	<p>イ 部活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との対話を通じ、関係性を築くことでの安易な遅刻、欠席、早退の防止。 ・学校生活を最後まで支援する姿勢を貫く。 <p>イ・生徒会を充実させ、生徒が中心となって部活動活性化の活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総遅刻回数・欠席日数とも前年比各10%減を達成する。 (令和元年度遅刻1667回、欠席3192日) ・中退率の維持(令和元年度は0.1%) <p>イ・全学年生徒対象部活動紹介を継続実施する。 (全身体験入部2日) 1年生の部活動加入率80%を実現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総遅刻者数;836回 総欠席者数;969回 (前年比 遅刻50.1%減 欠席30.4%減 コロナの影響で、出停の生徒が多く比較対象外) ・中退率は、0.8%(5名) (△) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率が58% (△)
<p>3 進路保障</p>	<p>(1) 基礎学力を身に付け、発展的学力を充実させる取り組み。 ア 公開授業・研究協議を充実させた授業改善。</p> <p>イ「主体的・対話的で深い学び」の探求・実践・充実</p> <p>(2) 希望進路の実現をめざし、高いモチベーションを維持するための取り組み ア 進路指導部主導型の進路指導体制構築</p> <p>イ 社会で役立つ資格等を取得するための取り組みと、進学に向けた英語、数学、国語の進学講習の充実。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・研究授業、公開授業、授業見学を計画的・組織的に実施。各学期に1度</p> <p>イ・教育産業が実施する学力診断テストを継続し、生徒の学力を定点観測し、生徒のモチベーションを上げるとともに、教員のスキルアップの材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学と連携を図り「主体的・対話的で深い学び」の校内研修を実施する。2回計画 <p>(2)</p> <p>ア・計画的な進路指導と、保護者懇談等を通じての情報提供を積極的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学・短大進学、就職・公務員・専門学校、看護医療の4つの係に担当を明確化し、学年団への指導と進路希望別に生徒への直接指導を行う。 <p>イ・卒業時に英検3級程度の力をつけさせる(積極的にGTECを導入) 1年生は全員必須またそのための学習の機会を設ける。 ・生徒・保護者への周知・指導強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成城セミナーの充実 自らの学習課題を明確に意識し、テキストも自ら選び、自学自習の習慣を身につけさせ、主体的で深い学びの実現で、目指す自分につなげる授業 	<p>(1)</p> <p>ア・生徒向け学校教育自己診断における授業満足度を70%にする。 (令和元年度は63.2%)</p> <p>イ・学力判定指標D3の割合を全体の10%以下にする。 (令和元年度28%減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修参加率95%を実現する。令和元年度は80% <p>(2)</p> <p>ア・保護者の学校教育自己診断における「学校は将来の進路や職業について、適切な指導を行っている。」について令和2年度は90%を目標とする。 (令和元年度は85.2%) ・卒業時進路未決定者0(ゼロ)実現</p> <p>イ・令和2年度2級程度2名 準2級程度15名3級程度50名を実現。 (令和元年度は2級0名準2級4名3級39名) ・資格取得者・検定試験合格者を600名以上にする。 (令和元年度は603名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー受講者20名を目標 	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業満足度が76.8%に上がった。(○) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力判定指標D3の割合が全体の10%以下にした。(○) ・外部の研修は中止し、校内での研修を実施。参加率が70% (△) <p>(2)</p> <p>ア</p> <p>「学校は将来の進路や職業について、適切な指導を行っている。」が88%で昨年度よりは上がっているが、目標には達していない。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路未決定者は20名 (△) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2級程度0名 準2級程度3名 3級程度38名 (△) ・資格取得者、検定試験合格者232件 (一) ・セミナー受講者は21名(○)

4 地域に根差し見守られ、地域に貢献できる学校づくり	<p>(1) 令和3年度入学者選抜志願者確保</p> <p>ア 「チーム成城」での組織的な情報発信</p> <p>イ 地域に見守られ、地域とともに成長する学校づくり</p>	<p>(1)</p> <p>ア 「チーム成城」での組織的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問を維持し、本校の実践内容を広く知ってもらう。 ・学校説明会や地域における説明会への管理職を中心に組織的に取り組み、経験の少ない教員にも経験を積ませる。 <p>イ ・地域の諸機関・事業所との交流・連携</p> <p>・文化祭・体育祭の地域等への門戸開放を一層進め、内容の充実を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・中学校訪問 200 校実施を組織的に取り組む。 (令和元年 218 校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学2・3年生徒・保護者・中学校教員等を5回開催し、計800名の参加を集める。 (令和元年度は生徒・保護者向け5回 835名) ・塾経営者への学校説明会1回 ・中学校進路指導主事向け説明会1回 (令和元年度塾 12名、進路主事 21名) <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度入試入学者の第一志望での入学者数をアンケート調査実施。90%を目標 (令和元年度は93%) <p>イ ・広報活動の充実。 成城ニュースを積極的に発行し、玄関前に掲示するとともに、了解の得られた地域や中学校へ掲示を願う。 (令和元年度は 100号) HPの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭り、自治体の催し物への積極的参加。 (令和元年度は吹奏楽部・ダンス部が福祉施設へ慰問。吹奏楽部・創作部が夏祭りに参加) ・文化祭・体育祭に合わせて1000名以上の来場者を迎える。 (令和元年度は1094名) 	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問は、32校実施。 (一) ・中学2・3年生徒・保護者・中学校教員等を5回開催し、計684名の参加。 (一) ・塾経営者への学校説明会1回実施 ・中学校進路指導主事向け説明会1回実施 塾5名、進路主事15名が参加。 (○) ・入試入学者の第一志望での入学者数アンケート調査が96,9%に上がった。 (○) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成城ニュースを52号発行 (一) ・地域連携は、すべて中止。 ・校内行事は、体育祭のみ実施。 (午前中のみで縮小) 来場者数は164名 (一)
5 校内組織の活性化と人材育成	<p>(1) 校内組織の活性化と職務の効率化の取り組み</p> <p>ア 初任者を含む経験の少ない教員の教師力向上。</p> <p>イ コンプライアンスの意識を高め徹底する</p> <p>ウ 危機管理意識・防災教育や保健・安全・衛生管理意識を高め、校内体制を組み取り組む。</p> <p>エ 時間外勤務を軽減させる。</p>	<p>ア ・「成城みらいプロジェクト」を充実させ、未来を見据えた人材育成と、新たな取り組みへの着手する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業見学週間の充実。 <p>イ ・会議等において、不祥事の防止、個人情報の適正管理、職場のハラスメント防止について周知</p> <p>ウ ・校内においてマニュアルを作成し、全教職員に周知・徹底する。</p> <p>エ ・職務が勤務時間内に終わるように、効率的に取り組む。</p>	<p>ア ・学期に一回の教頭・首席が中心となり教員のスキルアップをはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業観察用紙提出数目標 100枚とする。(様式変更) <p>イ ・不祥事、個人情報の漏洩、職場のハラスメントの事象を0件にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万が一事象が発生した時は、直ちに管理職に報告することを周知徹底する。 <p>ウ ・年間を通じて1回研修を実施する。</p> <p>エ ・年間を通して時間外勤務を400h以内にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に年次休暇・振替休暇の取得をする。 	<p>ア ・首席による3回の研修を実施。 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業見学週間を2回設けて実施し、授業観察用紙が124枚の提出があった。 <p>イ ・周知徹底し、0件。(○)</p> <p>ウ ・マニュアルを作成し、全教職員に周知・徹底できた。 臨時休業等に役に立った。(○)</p> <p>エ ・時間外勤務の多い教員が複数出た。 (32人/62人) (△)</p>